

若者を「支援対象」から「共創パートナー」へ — 全国初「Z世代課」が挑む、行政のアップデート — (福岡県北九州市)

取組概要

- ▶ 北九州市は、「日本一若者を応援するまち」の実現を目指し、全国初となる「Z世代課」を2024年4月に設置。
- ▶ 若者を「支援対象」ではなく、「共創パートナー」として位置づけ、若者視点を行政・地域・企業の実践に反映させる新たな行政モデルを推進。
- ▶ 全国の若者から自由なアイデアを募集し、実現まで伴走支援する「Z世代はみ出せコンテスト」や、若者を市政・民間事業へ派遣する「Z世代課パートナーズ」を展開。

取組の効果

- ▶ 「Z世代はみ出せコンテスト」では、2年間で応募総数89件、採択6件を実装。VR成人式、飲食店トレカ、コーヒープロジェクトなど、若者視点による新たな地域価値を創出。
- ▶ 「Z世代課パートナーズ」は52名が登録し、46事業へ延べ61人を派遣。若者の声を政策や民間事業に反映。
- ▶ メディア掲載は165件超(2026年5月15日時点)。全国初の取組として注目を集め、都市イメージ向上や企業連携にも貢献。

創意・工夫した点

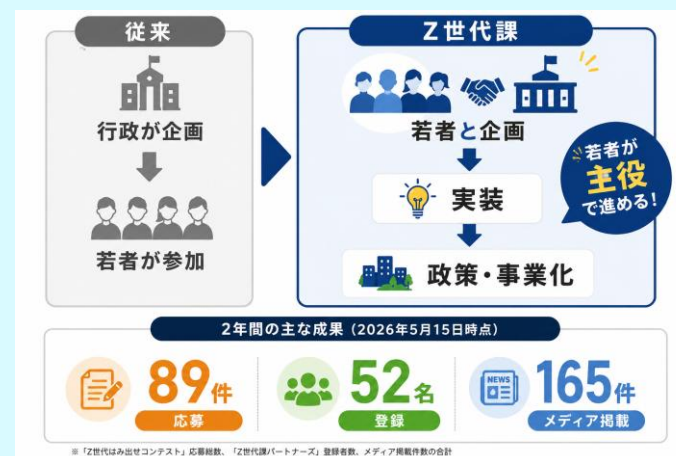
- ▶ 従来の「行政が企画し、若者が参加する」構造から、「若者と企画し、実装まで行う」共創型モデルへ転換。
- ▶ 若者とのコミュニケーション手法も刷新し、LINE・Slack・SNS広告など、Z世代の行動特性に合わせた事業運営を実施。
- ▶ “若者に学び、まちが変わる”(温Z知新)という考え方を市民や企業等に発信。

他団体へのアドバイス

- ▶ 若者を「支援対象」「意見を聞く対象」ではなく、「共創パートナー」として位置づけることが重要。
- ▶ 若者が参加しやすいよう、SNS・オンライン等を活用し、従来の行政手法にとられない柔軟な対応が必要。
- ▶ 若者のリアルな価値観や感覚を学ぶことが、人口減少時代における持続可能なまちづくりにつながる。

人口 900,494人(R7.9.1現在)

担当 政策局 Z世代課



周りの目なんか
気にするな、
はみ出せZ世代。